

日時 平成26年8月1日(金)  
午後2時00分から3時30分  
場所 地域交流センター リーベルルーム

## 質問1

### 「小学校の図書室の現状について」

#### 【質問者1】

王寺北小学校の図書室ボランティアを代表して質問します。王寺北小学校では2007年から保護者や地域の方々が協力して学校図書室の本棚の整理や傷んだ本の修理などを行っています。

さて学校図書室は、教育の一環として「なぜ・ふしぎ」を自ら調べ自ら解決する力を育てる、調べ学習の場所でもあります。その力は、人生を生き抜く知恵と力になります。ところが、図書室に並ぶ本は古く変色し、セロテープで何度も修理された本、辞典や地理や科学の本に至っては、すでに20年からひどいもので40年以上経過したものもあります。地図にはソビエト連邦がまだ存在します。夏休みの宿題の定番である読書感想文の課題図書も図書室に並ぶことはありません。

つきましては、学校図書室を子ども達を読みたくなる新しい本で満たしてやる事、そして、本の相談に応じ導く、司書の先生を配置して欲しいのですがいかがでしょうか。それと、図書本の不要本を簡単に廃棄できないのはなぜですか。どうぞよろしくお願いします。

#### 【町長】

図書館のボランティアのみなさんには、日ごろから読み聞かせ等ご支援いただきまして、本当に感謝申し上げます。ご指摘いただいた図書室について、私の思いを先にお話させていただきます。

昨年末に講演会で国連大使の吉川さんの非常に印象的な話を聞きました。吉川さんによると、これからの日本人は国際人でなければならない。これだけグローバル化が進んでいけば後退することはない。教育の現場では本当の国際人を育てることが大きな課題となる。国際人を養成するためには、日本人であることが必要。しっかりとした日本語をマスターして、読み聞き話せる。論理的に話せる。そういうトータルの日本語能力を身につけることが大事である。それから、英語を習得すればよい。そして、中国語を喋れなくてもいいから読めるようにしてほしいと、おっしゃっていました。

いろんなコミュニケーションの壁がある中で、大事なものは母国語をマスター

すること。それでは、その国語力を、どの時期にどのように育てるのか。幼児期の家庭での絵本など読み聞かせから始まっているのかもしれませんが、小学校できちんとした読書習慣をつけ、論理的なことを考える能力、話せる能力の習得に必要なのが、読書感想文などの手段だと思います。「いい本」を読める、きちんとした読書環境を整える。放っておいては駄目だと私は思うんです。大人が、学校が、行政が考えて、そういう環境を整えることが必要だと思っています。

そういう意味で現状を見ると、平成25年度王寺町学校図書館図書整備費の決算額は5校合わせて約80万円程度で、確かに低いです。必要な図書というのは整えてあげたいと思っています。学校司書については、現状は学校の先生が司書教諭として研修も受けながら図書室を管理していただいていると聞かれますが、やはり専門家が必要です。ただし、各学校全てに学校司書を置くかという点、そこは工夫の余地があるのかなと思います。

ひとつは司書の資格を持っている方などが学校の司書活動に参加していただくこと、それができないところは職員として採用する、そういう人、そういう予算を教育委員会と調整しながら子どもたちの読書環境をよくするために検討していけたらなと思っています。

## 質問2

### 「入浴料負担について」

#### 【質問者2】

高齢者福祉について、入浴料について伺います。今までの入浴料は全額公費負担で無料であったのですが、今年から100円の自己負担額が導入されて、私としては、負担は適正かなと思っています。100円の自己負担導入前よりも、浴場マナーが良くなった様にも感じます。町長が先ほどおっしゃられたように、無料が全て良い訳ではないと実感しています。

100円の入浴料が導入されて3ヶ月ほど経ちますが、100円のコインを忘れられる方が多いように感じます。100円硬貨の準備の必要がないように、前もって購入できる回数券の発行ができないかと提案させていただきます。片岡の家（老人憩の家）の維持費が高く、閉館する可能性があるというふうに聞いています。片岡の家の維持費はいくらなのかということもお聞きしたいと思います。

#### 【町長】

無料の制度というのは、節約やもったいないという感覚にはなっていない

ん。入浴料の回数券化ですが、回数券にすること自身は可能です。他の自治体に「10回分の料金の11回利用できる」という形で使用されているところがあるのも承知しています。しかし、回数券を導入するとチェックの経費、事務経費がかかります。コインを忘れることがあるなら、回数券を忘れることもあると思いますし、単純に回数券を導入することが料金の持参忘れの対策にならないのではないのでしょうか。

そういうところは大きな問題ではないかもしれませんが、お風呂の回数券を導入した場合、同じことがバスにも言えるのではないかということになってきます。お風呂が回数券で、バスがワンコインのままというのは統一が取れていない気がします。バスに回数券をとると、奈良交通と導入費用の交渉ということになります。回数券を集め数え計算し、申請してもらうコストがどのくらいかかるのかという心配があります。

施設面で言いますと、最近ではほとんどの家庭にお風呂があります。高齢者の入浴補助ということが本当に必要なことなのか見直す必要があります。

また、王寺町周辺にも河合町などに比較的新しい入浴施設があり、利用できるのであればお互いに連携して、例えば河合の住民の方だけでなく、王寺の住民の方も利用していただけるようにするだとかそういうことも話しをしていくことは可能です。

今後の高齢者施策の中で、どこに重点的にお金を使っていけるのか、しっかり見極める必要があります。一人暮らしの高齢者も増えていく中で、高齢者同士のコミュニケーションの場として重要だから残していくとか、施設の老朽化で廃止して近隣と連携して入浴の場を提供するとか、いろいろ工夫ができるだろうと思っています。

### 質問 3

「慢性疾患の予防と医療費について」

#### 【質問者 3】

私の方からは、質問というかあつかましい提案という感じなのですが、私たち高齢者の中には慢性疾患、生活習慣病にかかっている人が多いと思います。長く、良くない生活習慣で病気になった体の治療のために病院へ行きます。対症療法で多くの薬を飲んで医療費が高くなります。常に健康に不安を持っているのではないのでしょうか？

慢性疾患の予防には、大人に呼びかけるのはもちろんのこと、慢性疾患にならないように、きちんと正しい生活習慣の知識を「幼児」「小学生」から教えて身につけさせる機会をつけていただきたいと思います。

〇〇さんがおっしゃっていましたが、「健康であるということはエコである」。要するに冬でも子どもは半袖で過ごします。そしたら、防寒具とか要らないわけですよね。子どもたちにそういう正しい知識をつけてあげたら、その子どもが大人になり子どもを育てるようになって、その子どもに良い生活方法を身につけさせることができますね。そして、慢性疾患にかからない…そうすれば、本人はもちろん家族も健康になって医療費などが減少します。暖房代とか冷房代とかいろいろなことにも関わってくると思います。健康な方というのは、前向きに考えて、前向きな行動を取ると思うんです。平井町長さんが目指している明るいまちづくりのために、ぜひにと思ひまして。私の口からは説明できませんので、事前に資料を添えさせていただきました。その指導者として石垣邦彦氏を紹介させていただきます。この方は、人は楽しむために生まれてきたという理念を掲げておられます。健康な体でいれば楽しむことができると言って、人は楽しむために生まれてきたという理念でおられます。そして、AEDを初めて取り入れた方でもあります。そうして、日夜、健康な体であってほしいということを願っておられます。私自身王寺小学校に関係しているのですけれども、王寺小学校にそのような教育を取り入れていただきたいということで提案させていただきます。

#### 【町長】

慢性疾患の予防は重要な課題だと認識しています。小さいときから段階に応じて規則正しい生活を習得していくこと、子どもと大人では違いますが、そういう意識を持つことは基本だと思っています。

現在の奈良県知事の施策で、奈良県の健康寿命を日本で一番にしようとされています。少しPRになるのですが、9月から県の委託事業として、健康ステーションが地域交流センターにやってきます。6月から王寺町の施策として、ウォーキングを中心とした健康づくりに特に年齢区分をせずに取り組んでいます。今、ここに持っている「活動量計」を使っておこないます。1日20分の中強度、8,000歩のウォーキングで健康寿命のスイッチが入るとのことです。これを監修してらっしゃる青柳先生という方がおっしゃっています。今日の私の歩数が9,895歩、中強度で歩いていたのが48分です。

みなさん方に気軽に歩いていただいて、結果を見えるようにして、自分が目標の歩数を設定し、体重、血圧、体脂肪なども測定します。プラス血液検査も受けられるようにして、そういったデータを元に医師の先生に指導していただけるようにしました。

「健康寿命」を延ばしていくことが、一番大事だと思っています。今日の新聞で男性も平均寿命80歳を超えたと報道されていました。人間いつかは死ぬ

わけですから、元気で最後の場面を迎えられるように、小さいころから食事や運動といった習慣を身につける必要があります。

加えて、県が今、取り組もうとしているのが「漢方」です。食事制限や運動と合わせて漢方を取り入れる。奈良県はもともと漢方薬の産地でもあります。

東洋医学の漢方に加えて、西洋医学。(質問者)さんから、以前、冊子を頂戴しました。その執筆者の石垣先生も、西洋医学と東洋医学の良さを組み合わせて、いろんな論証をしていこうという考え方だと解釈しています。家庭でも生活習慣について子どもに教えていく必要があると思います。

しかし、小学校・中学校で教えるということは、学習指導要領との整合性を図らなければなりません。どのように取り込むか、そして、それを取り込むのにどのような科学的な知見や検証が必要なのか、どこかで線引きしないと。「これがいいから、これをしましょう」と簡単にはいきません。

全部を取り入れられることは難しいですが、正しい生活習慣を身につけるために取り込んでいける部分は取り込んでいきたいと思っています。

#### 質問 4

「デマンドバス・町債の利率」について

##### 【質問者 4】

2点ほど提案というか、意見というか、考え方などを申し上げたいと思います。第1点は、町長の最初にご報告のあった、高齢者の足の問題。無料バス、この点については、なくすことは止めて、むしろ、いわゆる、デマンドバス、単に路線だけで停留場に止まるのではなくて、自分の家の前で手を上げて、あるいは、重たい荷物がある場合は、家の前で停車してもらおうという、そのデマンドバスを運行するようにしてほしい。背景として、美しヶ丘、南元町が開発されています。ここには、役場はもちろん、金融機関もありません、郵便局もありません、病院もありません。40年前に、あるいは10年前に、車社会を前提にした、住むだけの一戸建ての、国の住宅政策の中で、王寺町も自然を切り開いて開発されました。だから、買い物に行く、今はローソンなどがありますが、魚屋、八百屋、病院、図書館に行くのも皆、バス利用、あるいは、自分の家の車です。高齢化しますと、自分で運転ができなくなります。まちづくりの一環として、美しヶ丘以外の住宅の中で当然足は必要ですから、デマンドバスを設置してほしいです。50人乗りのバスに3人くらい乗っているような、そういうことは無駄でしょうから、むしろ小型のデマンド無料バスを設置するのは、まちづくりの一環の必要性が、これは駅の近くの人とは違った生活サイクルにおかれているわけですから、これを現状で対応する足の確保が必要

である。これを有料にする、あるいは、なくすことは、全然違ったまちづくりの方法であると思います。

もう一点、町債残高が100億をきりましたが、去年あたりの利率をみますと、最高4%ですか、年率、1.5%あるいは4%以上、異常な高率で今でも取られている。そんな馬鹿な話があるかと思えます。昨日の新聞にも三菱UFJの10年ものの住宅金融金利を下げたという報道が出ております。1.8%ちょうど町債は4%、これは定期預金が0.2%ぐらいですから、ある意味では20倍、40倍にもなる。そんな高利な公の地方自治体の税金が取られるというのは、もってのほか。もっと有機的に日銀がゼロ金利政策を続けるのならば、地方自治体と町債と利率はどうゆうふう引き下げるべきなのか。こういうことで、私はそういう運動をぜひ、町政の力、あるいは、地方自治体の持つ力をもって、下げる。そのことが町の福祉施策に皆繋がってくるのではないかと思います。ありがとうございます。

#### 【町長】

ご質問ありがとうございます。2点質問いただきました。1つは高齢者の足の確保ですね。さきほども触れましたが、今後ますます高齢化が進んでくる、そして、王寺町はわりと坂の多いところに住宅が立地している点がございませう。そういった状況の中で、どういった交通手段、足の確保がベストなのか、それはご指摘されたとおりに大変大事なことですが、今、ご案内のとおり、バスとイコカードと今年からタクシーを選択肢としたわけです。県内市町村でデマンドバスを導入しているところが大変多くなっております。隣の香芝市も区域が広いということもあって、役場を起点に幾つかの路線をデマンドバスで運行されています。他も当然あるわけですが、王寺町の場合、評価はいろいろあると思います。バス路線は、わりと幹線道路を通ってくれているのではないかと、1つは思っています。ただし、今おっしゃっておりますように、坂道が多い、美しヶ丘の山手の上の方とか、藤井、舟戸の方は路線から外れていると思います。どこまできめ細かく路線バスを走ってもらっていいのかと思うのですが、1つのアイデアとして、例えば美しヶ丘の環状道路のような所に、昼間、小型のバスを走らす時には循環していただくような方法はないのか、そういったことを、ちょっと議論をしたことはあります。さきほどもちょっと触れましたが、王寺町はこれから、タクシーをもっとうまく利用できないのか、8,000円のタクシーチケットの助成をさせていただきましたが、ドアツードアという意味では、タクシーが一番便利かなと思います。タクシーは1人で8,000円全部使うというよりは、場合によっては3人一緒に乗っていただいてもいいんです。そういう工夫の仕方でもう少し広がりを見せることができるのではないかと。

決して1人8,000円ということではなくて。確か、三郷町でも乗り合いタクシーがあります。そういう手法が可能であるならば、王寺の住民の皆さんがそれぞれタクシーを選んでいただいて、3人の方が一緒に乗るなど、もう少し工夫する余地はあるのではないかとひとつは思っています。それは、なぜかといいますと、やはり工夫しなければならないのは、王寺の少子高齢化社会を見ましたら、いろんな場面に財源の手当てをしていかなければならないのは事実だと思います。仮に足の確保のためにデマンドバス制度を導入したとして、王寺町に特別養護老人ホームがなくてもいいのですかねというような、決して二者択一ではないですが、どういう優先順位で施策をやっていくのかということ、みなさんと議論しながら順番付けをやっていく思いがあります。高齢者の方の足の確保は大変重要な施策とっております。一部負担の話は少し趣旨は違いますが、単に減らしていいとは決して思っておりません。いかに工夫しながら有効に資源を使っていたかということで、ぜひアイデアをいただけたらと思っています。

2つ目の町債の件ですけれども、繰り上げ償還ですね、20年償還のものを10年償還 残りの起債を繰り上げ償還する こういったことを出来るだけやっています。どんな起債でも繰り上げ償還できるわけではありません。繰り上げ償還するには基準・条件があります。ただし、王寺町の場合はその条件に関するものは、ほぼ繰り上げ償還しています。正確には総務部長に答えていただきますが、起債の削減、公債費の削減努力は、意識してやっています。全てが繰り上げ償還できるという仕組みになっていません。それと、ただで繰り上げ償還させてくれないんです。繰り上げ償還を申し出たらペナルティー料がとられます。そんないろんな要素がありますので、単純に高い起債を放っているわけではないということをお願いしたいと思います。以上です。

#### 【総務部長】

総務部長の中野でございます。今、ほぼ町長のほうから、ご説明させていただいたわけですが、確かに今の状況で4%は大変高い利率でございます。ただ、町長が申しましたように、政府債という一般的に国等から借り入れる借金がございしますが、それについては一定のルールの中で繰り上げ償還ができるという取り決めがございます。そういう中で、実質公債費比率と申しまして今の町の標準財政規模に対してどれだけの公債費を負担しているかという率があるのですが、その率が低ければ、違約金無しでの繰上償還はできないなどのルールがあります。そういうルールの中で王寺町で政府債について、返せるものについては全て完済しております。あと政府債以外の市中金融機関から借りる部分については、一定の金利は向こうの営業の中でやっていますので、繰り上げ償還

するとその違約金が発生することになります。その違約金と今後発生する利息のその限界点の中で有利なものについては、これは当然、償還していきたいということで今現在やっておるわけですが、今返すのが得か、または、このまま返したほうが得なのかという部分、それと、もう1点でてくるのが、今持っている資金について、国債であったりとかと、いろいろな資金運用ができますので、定期預金ですと、0.何パーセントしかつかないですが、今、国債ですと約1%ぐらいの利率がつくようになってきておりますので、そういう中で資金を有利に運用したほうが得策である場合もございますので、その辺、しっかりと将来的な財政を見込みながら、今後、資金運用と繰り上げ償還は時期を見ながらしていきたいと考えています。

## 質問5

「ファミリーサポート体制・西和医療センターの産科再開」について

### 【質問者5】

新日本婦人の会、王寺支部の〇〇と申します。いつもお世話になっております。去る5月24日に「子育て支援に関する要望書」をさせていただきましたが、その際、福祉の方で前向きな話合いができて、大変喜んでおります。その後、ファミリーサポート体制の進捗を、先ほども少し触れていただきましたが、どのようになっているのでしょうか。それから、子ども子育て会議が発足して定期的に話合いをされているようですが、どのような内容になっているのか、もう少し詳しく聞かせていただければと思います。若い人の働き方が大変な時代で、おじいちゃん、おばあちゃんにお孫さんを預けられる人はいいいですが、夫婦2人だけで、あるいは1人親だけで、夜遅くまで働いて、大変奮闘している人がおりますので、ファミリーサポート体制ができることを本当に切望しております。

それから、三室病院の産科がなくなって、近くでお産ができない状態ですが、その辺どうなっているのでしょうか。

### 【町長】

ご質問ありがとうございます。2つ質問いただきました。私の方からは三室の産科の方を先にお答えさせていただきました。ファミリーサポート等の現状については、担当部長の方からお答えさせていただきます。

三室病院の産科は、平成21年4月から休診となっております。私も前職が県職であったこともあり、その辺、関心をもって見させていただいています。そして、当時から町内でふるさとお産ができないという問題意識を持っていま

したので、三室病院の元院長であったり、関係機関にいろいろな要望をしております。現状だけ、簡潔に申し上げます。今年の4月から県立三室病院が独立行政法人という別の組織体になりました。それで、奈良病院と三室病院とリハビリステーションセンターの大きな3病院全体が1つで経営する形になっています。なおかつ、県直接よりも民間的な手法で経営していますので、かなり柔軟、弾力的な対応ができると聞いております。これは、私が確約できるわけではないですが、来年の早いうちには何とかといった感触を受けております。これが1月1日になるのか4月1日になるのか、それは分かりません。しかし、さきほども申し上げましたとおり、器が大きくなりますので、三室病院に単独で3人の常勤の産科の方を揃えるのは無理ですが、奈良病院と一緒に大きくなりますと、臨時の方のローテーションも含めて、かなり前向きな感触を得ておりますので、それだけ申し上げたいと思います。私からは以上です。

#### 【住民福祉部長】

住民福祉部の浅井でございます。先日はどうもありがとうございました。来ていただきまして、その際にもお話はさせてもらったと思いますが、まず、ファミリーサポートの関係ですが、法律の中で位置づけされております。その中で、子育ての会議も絡むのですが、アンケート調査をやらしていただいて、その中でどのようなニーズがあるのか、どれくらいの量が必要なのかを含めて、データ等を今、分析をしております。その中で子育て会議でいろんな事情の中で、この分が必要であるなど、王寺町の実情を応じた中で、検討していきます。これは当然、子育て会議の中で検討していきますので、ファミリーサポートにつきましても会議で議論をさせていただこうとしています。それと子育て会議の状況ですが、第1回3月末に開催しアンケート調査をやらせていただいて、データをまとめている状況でございます。その辺がまとまった段階で、会議を開催させていただいて、王寺町の実情に応じて議論をしていただいて最終、計画をまとめていきたいと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 質問6

「保健センター利用時の駐車料金等」について

#### 【質問者6】

明神から参りました〇〇と申します。すくすく広場など保健センターなどを利用するにあたりまして、どうしても駐車場が高いから行きにくいなという言葉を聞くのと、皆で遊んで、ごはんやお弁当を子どもたちと食べれないのが嫌

だねという会話を聞いたので、ご検討いただけたらと思います。

**【町長】**

おっしゃるとおりだと思います。リーベる全体の駐車場を、どのようにして保健センターを使われる方に、もう少し利用しやすくできないものかなと、これについては、こちらの会社（王寺都市開発）の方の会議でも課題を投げかけています。機械のことですとか、クリアしなければならぬ問題があります。それと、駐車場から（センターへ）のスロープがなんとかできないものか、そこを設計された当時の方をとにかくいうつもりはないのですが、もう少しスロープを車椅子の方が駐車場からセンターに来るのは、かなり苦勞されるのではないか。なかなか今すぐにはできませんが、かなり問題意識を持っております。

**【総務部長】**

総務部長の中野でございます。

駐車場の件につきましては、利用者の方に本当にいろいろとご意見を従来からいただいております。今、町長が申しましたように、公営施設の中で駐車料金をいただくことについて、この施設が（王寺）都市開発という会社で運営しております関係上、この駐車場につきましても第三セクターではございますが、会社として運営されており、通常、町の施設のような自由度がないというのが事実でございます。ただ、今現在、西友等々、同じ駐車場を使っている中で、駐車料金の見直しは、今年度、駐車システム、料金の加算のシステムを現在、見直しております、今年度中にそのシステム化ができる予定ですので、それにあわせて、いろんな形の負担の軽減、縮小を図れないか、何らかの方法を今、会社と町で共に研究をしております。その中で、出来る分について早急に考えは示させてもらえたらと考えております。

**【住民福祉部長】**

住民福祉部の浅井でございます。今、おっしゃられたとおり、保健センターでは、就学前の子どもさん、保護者の方が情報交換を行う場としていますが、コミュニケーションの場でお昼ごはんを食べるという形ですが、それについては、実態等を見させていただいて、検討していかなくてはならないと思います。まずは、保健センターのスタッフの中でいろいろ話しを聞きながら、検討していきたいと思っております。以上です。

**【進行】**

予定した時刻をこえておりますので、以上を持ちまして本日のタウン

ミーティングを閉じさせていただきたいと思います。それでは、閉会に当たり、平井町長から本日お集まりいただきました皆様へのお礼も含めましてご挨拶を申し上げます。

#### 【町長】

私の方から一言お礼を申し上げたいと思います。今日のお話、また概要をホームページにアップさせていただいて広く皆様方に知っていただきたいと思っています。それから今日、質問が十分にできていなかった場合は、ホームページ等、いろんな形でご意見をいただけるとと思いますので、これは全く遠慮無しに、ぜひ何かの形ででもお届けいただければと思います。なかなか難しいところ、なかなか説明しがたい時もありますが、しかし、まず結論を先に返して下さいということで庁内で指示をしております。幅広くご意見をいただきたいと思っています。あと、今後、いろいろな形でご意見を承る機会をつくっていきたいと思っています。例えば、出前トークをしてほしいとか、いろんな要望があると思いますので これも含めてご意見をお寄せいただければ有難いと思います。それと、雪丸も人気が出て参りました。いろいろ意見をいただきます。もっと主要な施策があるのではないか、別に（雪丸に）お金を使わなくていいのではないかというような意見をいただきますが、今まで、王寺町は観光資源や歴史資源をあまり意識してこなかった、しかし、王寺町には達磨寺だけではなくて、法隆寺や信貴山に行かなくても、歴史資源がいろいろあります。この雪丸をシンボルにして王寺のいいところを皆さんに知ってもらいたい。住民のみなさんに誇りを持っていただけるようなまちづくりをしたい、では、誇りとは何なんだと、自分も知る努力をしてもらいたい、というようなことがどうしてもありますので、そういう意味で、雪丸も東京で広まってきておりますので、ぜひ皆さんにシャツを買ってくれとも言いませんので、広めていただけたらと思います。今日は本当にありがとうございました。